

栃の木からの手紙

2024年 霜月 11月号

1日： 新月 旧 10月 1日

7日： 立冬

16日： 満月 旧 10月 16日

22日： 小雪

【 デントコーン収穫後の管理作業 】

10月 3日 残渣物すき込み ロータリー

10月 4日 雨

10月11日 有機資材土いきかえる散布500倍

10月21日 初霜・初氷

10月25日 残渣物切換し ソイルクランブラ

10月31日 有機資材醗酵鶏糞ペレット 4袋散布

11月 2日 すき込み ロータリー

10月2日にデントコーンを収穫してから重作業機が3回、軽作業機が2回畑に入りました。これだけ作業をしているのは、残渣物の分解を促進したいからです。

デントコーンの実の部分だけを収穫して茎葉は細断して畑に散布して行くので結構な量の有機物が畑に残ります。来年の作物の生育の為にこれを醗酵分解させる必要があるのです。

10月中旬、この畑の畔にまだ黄色の花が咲いていた。毎年咲いているがこの時期まで咲いているのは珍しい。今迄名前は知りませんでしたが調べてみると

「アラゲハンゴン草」といい

中央の筒状花がこげ茶色になっています。

この仲間で「オオハンゴン草（ルドベキア）」になるとキク科の多年生草木で中央の筒状花は緑色。北アメリカ原産で特定外来生物に指定されていて駆除の対象になります。更に菊芋もオオハンゴン草の仲間なのです。その生命力を目の当たりにすると頷けるものがあります。今年は、菊芋を10株だけ5月中旬に植えましたが、7月の除草の際に雑草として処理されてしまいました。昨年11月に収穫したものを粉末に加工してあるので自家用で摂取する分は間に合っていますが、来年の為に少しは菊芋を購入しています。

